

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス シュエット南柏教室			
○保護者評価実施期間	2025年 2月 2 2日		～	2025年3月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数)	13
○従業者評価実施期間	2025年 2月 22日		～	2025年 3月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 25日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	管理者と定期的な面談を行うことで悩みや課題点を把握する体制があり会社全体の業務改善や品質向上に繋がられている	管理者との面談以外でも、些細な意見や働く上での懸念点があれば、上長に報連相を行い、すぐに会社全体で反映できる環境設定がなされている	面談以外でも、意見を伝えるツールを設置する事で改善への取り組みが迅速化できると思う。
2	特性の関係性を考えてその日の行動に関するスケジュールなどを視覚化することで支援教室の小さい社会の中でも質の良い療育を提供して、自立に向けた取り組みをしている	静と動の活動ができるように区切りをして、活動の場がはっきりしている 個別で対応できる部屋などもあり、子どもの情緒の変化に対応出来る環境設定がなされている	職員一人一人が児童の特性をより一層理解し、児童にとって良い環境とできるよう、知識の向上を行っていく。
3	SNSの連絡ツールを用いることで保護者様からの意見や疑問をいち早くキャッチすることで迅速な対応ができ、それを職員間で共有することで質問があった際も適切な対応に繋がられている	職員間で情報共有アプリを使用することでリアルタイムでお子さん・保護者・職員に何が起きているかを共通認識することで情報の行き違いをなくしている	プライバシーなどに配慮しつつ、複数媒体で情報を共有することで連絡ツールに不都合があった際に振り返りや代用ができるようにする。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもの交流など、施設外での交流が少ない	他施設とのやり取り自体が多いわけではなく日程や人員、移動距離などの関係もあり、なかなか交流する場を設ける事ができない	他施設などで行われているイベントや行事に赴くなど、こちらでの準備が少なくすむ事から始めていければと考えています。
2	他施設とのやり取りが多くない為、保育所や子ども園、幼稚園での日々の保育や療育の様子がわからない部分がある	事業所での様子と、他所やご自宅での様子が違う場合もあり、そういった事に関して情報がある事で児童がどういった環境下でどういった行動をするかという特性がわかるようになると療育についても良い成果を出せる可能性がある	今後、他所などで大きく様子が違う情報があれば積極的に状況を確認したり、訪問を行うなどで情報の共有を図っていきたい。
3	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が少ない。	ご家族を招いたイベントを行ったり、児童の情報共有はできているが、家族支援としての情報提供の方法や、研修の機会を設ける事には至っていない。ご家族との関係性も考慮し、こちらから提案したりすることができない場合があった。	児童への療育的な観点からも、今後はご家族への支援も考慮し、関わっていく形を作っていきたいと考えている。